

第29期役員・議員決まる!

任期

平成19年11月1日～
平成22年10月31日

本年10月末で第28期の役員・議員が任期満了を迎えることから、定款、議員選挙・選任規則に基づき8月24日選挙委員会、同月29日常議員会において議員・役員選挙・選任日程を決定した。9月19日の常議員会において3号議員10名を選任し、9月21日から同月28日にかけて各部会総会が開催され2号議員28名が選任された。1号議員については、10月18日の立候補届出辞退締切日に42名の定数を超えなくなったため、選挙委員会において当選人を決定した。

役員については、11月1日開催の臨時議員総会において、会頭（1人）、専務理事（1人）、常議員（25人）、監事（3人）が、また、同月12日の臨時議員総会において副会頭（1人）が選任され、新体制がスタートした。

なお、今回の役員改選により、会頭を務められた河田友宏氏（第11代：3期8年）、副会頭を務められた安達清司氏（4期11年）、専務理事を務められた瀬野達雄氏（4期11年）は、この10月の任期満了をもって退任されました。

会 頭



(1号議員) 【新】
上 西 勝 己
上西・本間税理士法人
代表社員
理事長・税理士

この度の役員改選にあたり、不肖浅学非才の私が身に余る大役をおおせつかり、その重責に身の引き締まる思いです。

新体制のスタートは、副会頭2名欠員ということになりましたが、会議所も、若返りしてほしいと思っておりますし、選任についても、鋭意検討しております。

ご迷惑をおかけしますが宜しくご了承いただき、いましばらくのご猶予を頂きたいと思っております。

現下の厳しい経済情勢を考えると、商工会議所の使命は大変重要であると考えます。そのためにはどうすれば良いのか、頭に汗して考えるべきであろうと思っております。

会員の皆様の叡智を結集して、舞鶴市のみならず京都府北部の広域的観点から元気なまちになることを目指すべきだろうと思っております。また、その為にも、会議所は会員企業の話し相手になり、お互いの悩みや、要望を吸収し、会議所の会員であって良かったなど、少しでも思われるようになりたいと考えます。

会員の皆様のご協力とご指導を伏してお願い申し上げます。

副会頭



(3号議員)
田 中 康 弘
舞鶴倉庫(株)
代表取締役社長

本来、私は10月末の任期終了時点で、退任させていただくつもりでしたが、11月12日の臨時議員総会において、三度副会頭に選任され、諸般の事情により、引き続き重責をお受けすることとなりました。

今、舞鶴は大変厳しい経済状況が続いており、京都府北部における位置づけも低下しているのではないかと感じています。また、二年半後の和田埠頭の完成を控え、港湾の活力を如何にして高めるかという大きな課題もあります。

このような状況を何とか克服していくために、新進気鋭の方々にも是非参加していただき、ともに頑張っていきたいと覚悟を新たにしています。

皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

専務理事



【新】
瀬川 甫

このたび専務理事という重責を仰せつかることになり、大変に光栄であると同時に身の引き締まる思いをいたしております。

もとより浅学非才の身ではありますが、会頭の意を体して、地域を代表する総合経済団体として当所がフルに機能し会員の皆様のお役に立てるよう、また本市経済の更なる振興発展のため、全力を尽くして務めなければならないと決意いたしております。

皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。